

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 735 号	氏名	今村 健仁
学位審査委員	主査	大園 恵幸	
	副査	松山 俊文	
	副査	柳原 克紀	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、子宮内膜症の病態におけるストレス関連蛋白 (Heat shock protein70: HSP70) の役割を明らかにしようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 正所性子宮内膜組織および異所性 (骨盤腹膜および卵巣) 子宮内膜症病変組織における HSP70 および CD68 の発現動態を免疫組織学的手法を用い Q-H(quantitative histogram)スコアにて検討した。さらに GnRH アゴニスト (Gonadotropin-releasing hormone agonist) 療法施行した群における HSP70 発現への影響を検討したもので、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、子宮内膜症の正所性子宮内膜および骨盤腹膜の赤色病変で有意に HSP70 および CD68 の発現が増強していたが、GnRH アゴニスト療法を施行した子宮内膜では有意に低下しており、HSP70 が子宮内膜症増殖・進展に関与していることを明らかにしたもので、今後の子宮内膜症研究への貢献が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は、子宮内膜症研究へ貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士 (医学) の学位に値するものと判断した。</p>			